

の履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
中学2年	2-1	美術	美術	1	必修

教科書	美術2・3上（日本文教出版）
その他の教材	・感じる 表す 美術資料

目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。			
学習のねらい	<p>(1) 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。</p> <p>(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。</p>			
定期考査	期末考査のみ実施（年3回）			
評価の観点 および 評価の方法	作品および平常点（準備、提出物の状況）：75%，定期試験の成績：25%として、総合的に評価する。			
作品評価の 観点	美術への関心・意欲・ 態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて豊かに発想し、良さや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。
履修上の注意	<p>[準備物]</p> <p>・教科書 ・筆記用具 ・スケッチブック ・ファイル</p> <p>・水彩絵の具、用品一式 ・アクリルガッシュ、用品一式</p>			

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017/18)年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	オリエンテーション [B鑑賞] ・授業を受ける上での準備物や留意事項を理解し、一年間の美術活動について把握する。	作品および平常点 【一学期期末考査】
	5 月	ボックスアート [A表現(2)] ・透視図法を用いて空間性のある構成ができる。	
	6 月	・色彩の基礎知識を生かして効果的な配色ができる。 ・相互鑑賞を通して自分の制作について振り返るとともに、他の作品のよさを感じ取ろうとする。	
	7 月	期末考査	
夏期休業			
2 学 期	9 月	人物像の制作 [A表現(1)(3)] ・動きのある人物を構想できる。	作品および平常点 【二学期期末考査】
	10 月	・人体の動きを理解して心材を制作できる。 ・塑像の特性を感じ取りながら制作できる。	
	11 月	・相互鑑賞を通して自分と他者の作品の良さに気づくことができる。	
	12 月		
冬季休業			
3 学 期	1 月	ピクトグラム制作 [A表現(1)] ・生活の中におけるピクトグラムの機能について理解することができる。	作品および平常点 【学年末考査】
	2 月	・デフォルメを工夫して構想できる。 ・色彩基礎を用いた効果的な配色ができる。	
	3 月	・彩色順序を工夫して、見通しを持って制作できる。	
春季休業			